

10月15日 曜日 めあて 滋賀県の鳥「カイツブリ」を調べよう!

〈大きさ〉

ムクドリぐらい

1年中

全長26cm

〈食べ物〉

水生生物

小魚、ザリガニ

エビ類

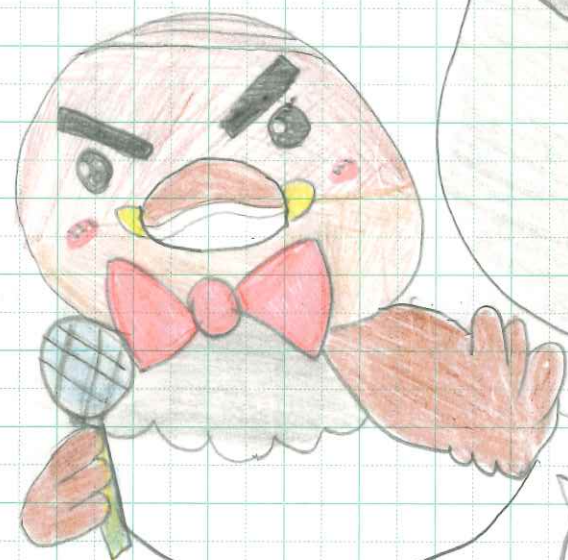
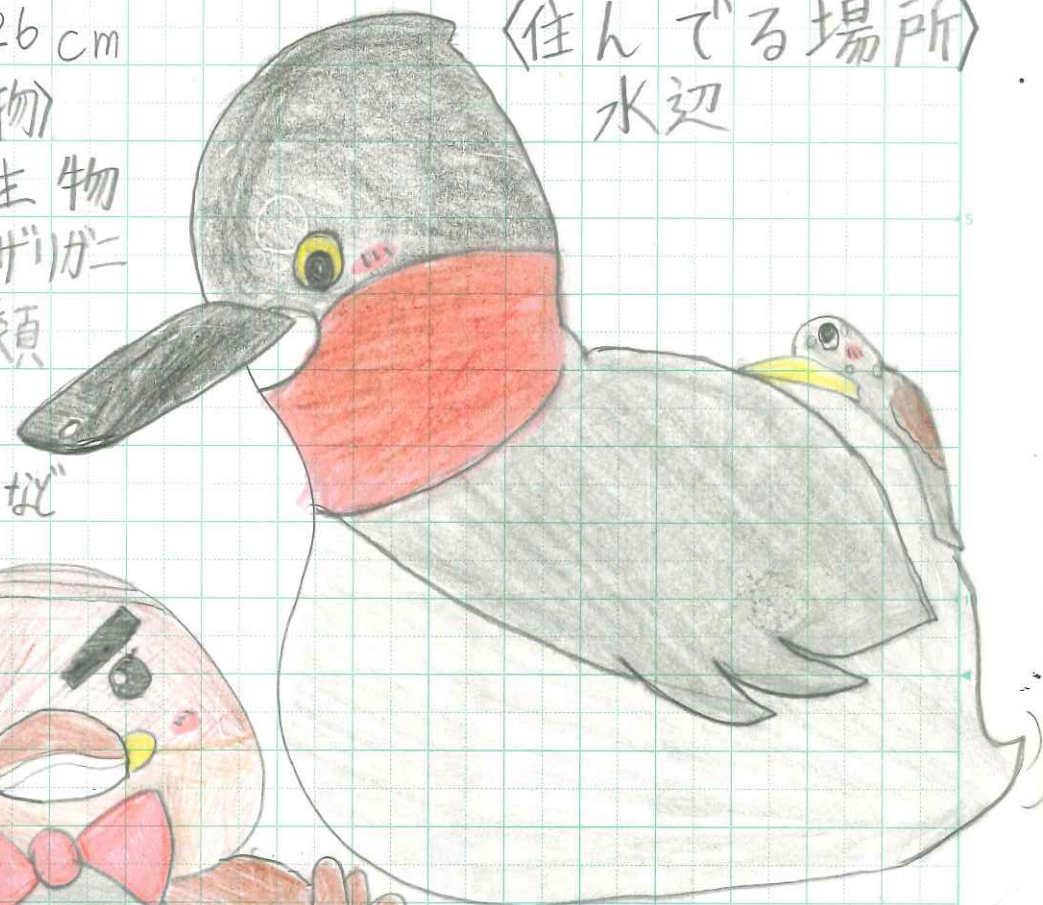
大きな

水生昆虫など

〈主に出現する時期〉

〈住んでいる場所〉

水辺



野州のおっさんのモデルです。

〈巣〉

ヨシや水草の茂った水面に、水辺植物の葉や茎、藻類を集めて直径50~60cmの球状の巣。

月 日 曜日 めあて

カイツブリは、別名 ^{にお} 鶺鴒 といいいます。琵琶湖は昔「におのうみ」と呼ばれていました。それだけに琵琶湖に多くのカイツブリが住んでいたことを意味しています。

カイツブリは、昭和40年(1965年)5月に「県の鳥」に選ばれています。
※ 鶺鴒... カイツブリの古名。

におどり。

古来「鶺鴒の浮き巣」としてよく知られている。

〈子育て〉

メス、オス交互に ^{おん} 抱卵し、ヒナがかえってからもしばらく巣に留まる。

〈特徴〉

メス、オス同色。

夏羽一頭が黒く顔から首にかけて赤褐色。

冬羽一全体に淡い色にかれる。

潜水が得意。

カモに似ているがカモの仲間ではない。

「におのうみ」の由来を知ることができてよかったです!